

I. 教育課程および単位制度

1. 教育課程

理工学部の授業科目は、**教養系科目**、**専門教育科目**、**公開選択科目**からなり、これらの科目を4カ年に配当して授業を実施しています。卒業して学士の学位を得るためには所定の授業科目の単位を修得しなければなりません。そのために必要な単位数および内容に関する規定は極めて厳格なものです。この「履修の手引き」を熟読し、誤りのないよう十分に注意してください。また、教育職員・図書館司書・学校図書館司書教諭・博物館学芸員等の資格取得志望者のために、教職・資格に関する科目が設置されています。

2. 単位制度

本学における教育課程は、すべてに単位制度が採用されています。単位制度とは、所定の授業科目の履修を終了し（所定の期間を受け終わること）、平素の学習・出席状況および試験・レポート等による成績評価の結果、合格することによって、その授業科目に与えられている単位を修得していく制度です。また、特定条件を満たすことにより単位が認定される科目もあります。

各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を、自習も含めて45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、大学設置基準第二十一条に則り計算するものとします。

- (1) 毎週1回14週の授業で1単位の場合は1時間の授業時間外学習を必要とする。
- (2) 毎週1回14週の授業で2単位の場合は4時間の授業時間外学習を必要とする。

3. 卒業所要単位および修業・在学年限

理工学部を卒業し学士（理工学）の学位を得るためには、4年以上（最高8年）在学し、各学科の定める単位を修得しなければなりません。特に、必修科目はそのすべての単位を修得する必要があります。ただし、編入生については、必修科目の一部を対応する一括認定科目で代替することができます。各学科の定める要件については、後述の各学科の案内を確認してください。

※ 転籍・転部・転科、または編入学で入学した学生は、必ず、学部窓口で進級卒業要件を確認してください。

卒業所要単位 ※詳細は必ず各学科の案内で確認してください。

科目系列		必要単位数		
教養系科目	英語科目	8 単位以上 (創生は選択語学含め 14 単位)	計 32 単位以上 (創生は計 38 単位以上)	計 124 単位 以上
	教養科目	12 単位以上		
	理系教養科目	12 単位以上		
専門教育科目	自学科専門科目	62 単位以上	計 80 単位以上 (創生は除く)	
	他学科専門科目			
公開選択科目		卒業所要単位算入は最大 12 単位まで		
自由科目(創生科学科のみ)		卒業所要単位には含まれません		
教職・各資格関係科目		卒業所要単位には含まれません		

進級条件・卒業要件および履修上の留意点

	教養系科目			専門科目		公開選択科目	合計
	英語科目	教養科目	理系 教養科目	自学科 専門科目	他学科 専門科目	※2016以降 入学生のみ	
第1学年から 第2学年に進級			6単位 以上				30単位 以上
第2学年から 第3学年に進級				必修 20単位以上			64単位 以上
第3学年から 第4学年に進級	8単位			必修 28単位以上 選択必修 4単位以上			100単位 以上
卒業要件	8単位	12単位 以上	12単位 以上 (必修6単 位を含む)	62単位以上 (必修39単位・ 選択必修 4単位以上 を含む)			124単位 以上
	計32単位以上			計80単位以上		卒業要件 算入は最 大12単位	

※ 選択必修科目（次ページ専門科目一覧参照）は必修科目に準じた重要科目であり、5科目中2科目（4単位）を必修とします。

※ プログラミング言語をより詳しく学習したい学生には、プログラミング言語 C++、プログラミング言語 JAVA の履修を薦めます。ただし、これらの2科目は他学科主催科目であり、希望者が多い場合には履修が制限されることがあります。

※ 卒業要件について：教養系科目の合計32単位と、専門科目の合計80単位の修得だけでは、合計が124単位以上という卒業要件を満たすことができません。さらに12単位以上を専門科目（教養系科目・公開選択科目でも可）から修得してください。

※ 毎学期の成績および履修状況は、原則、保証人に通知されます。GPA が低い学生に対しては、適宜面談を行う等して成績向上のためのサポートを行います。

※ 編入生については、必修科目の一部を対応する一括認定科目で代替することができます。

※ 転籍・転部・転科、または編入学で入学した学生は、必ず、学部窓口で進級卒業要件を確認してください。